

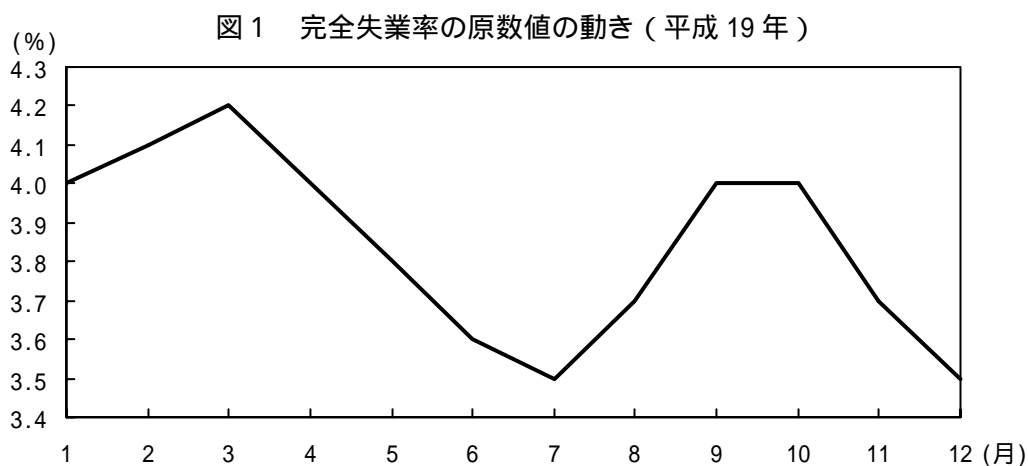
労働力調査の結果を見る際のポイント No.7

季節調整値の改定

～季節調整値は毎年 1 月分結果公表時に、過去にさかのぼって改定～

季節調整値を過去にさかのぼって改定しましたので、その概要を説明します。

労働力調査のような月次統計の原数値には季節変動が含まれます。例えば、図 1 に示すように、毎年 2 月から 4 月にかけて、定年や雇用契約の満了による離職者、学卒未就職者などが一時的に完全失業者となることがあるため、完全失業率が高くなる傾向にあります。また、9 月から 10 月にかけても、完全失業率が高くなる傾向がみられます。



足元の動き、すなわち前月からの変化を適切にとらえるためには、こうした季節変動の影響を除く必要があります。そこで、完全失業率のほか、就業者数などの主な集計項目について、原数値から季節変動を除いた「季節調整値」を求めて、公表しています。

季節調整値を算出する際には季節変動を推計する必要がありますが、季節変動のパターンは、毎年少しずつ変化しています。そこで、直近の季節変動パターンを結果数値に的確に反映させるため、労働力調査では、毎年 1 月分結果公表時に、過去の時系列データに前年 12 か月分の結果を追加して、過去にさかのぼって計算し、過去 10 年分の数値を改定しています。

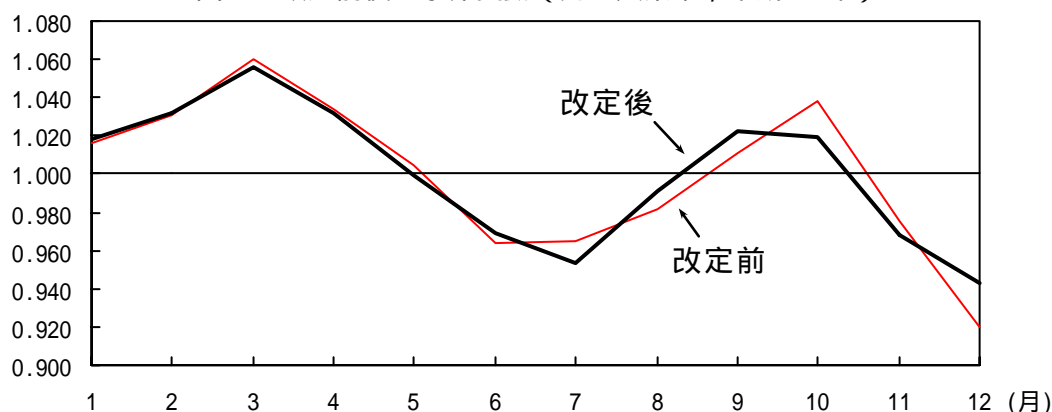
季節調整法の詳細は「[労働力調査の結果を見る際のポイント No.4](#)」を参照願います。

今回の改定についてみると、図2に示すように、平成20年は7月から12月までの季節変動が変化していることが分かります。この結果に基づいて平成20年12月の季節調整値を求めてみると、次のようになります。

$$\text{(改定前)} \underbrace{\frac{270(\text{完全失業者数})}{6601(\text{労働力人口})}}_{\text{完全失業率(原数値)}} \times 100 \div 0.920(\text{季節変動}) = 4.4\%$$

$$\text{(改定後)} \frac{270(\text{完全失業者数})}{6601(\text{労働力人口})} \times 100 \div 0.942(\text{季節変動}) = 4.3\%$$

図2 改定前後の季節変動（完全失業率，平成20年）



下表は、完全失業率について、今回(平成21年1月分公表時点)の改定状況を示すものです。平成20年は、8月(4.2% 4.1%)、10月(3.7% 3.8%)、11月(3.9% 4.0%)及び12月(4.4% 4.3%)がそれぞれ±0.1ポイント改定されました。したがって、11月から12月への動きは、改定前が0.5ポイントの上昇(3.9% 4.4%)でしたが、改定後は0.3ポイントの上昇(4.0% 4.3%)となります。

表 季節調整値の改定による比較（完全失業率）

			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
改定前 (%)	平成17年	2005	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.3	4.4	4.3	4.2	4.4	4.5	4.4
	18	2006	4.4	4.1	4.1	4.1	4.1	4.3	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0
	19	2007	4.0	4.0	4.0	3.9	3.8	3.7	3.6	3.8	4.0	3.9	3.8	3.8
	20	2008	3.8	3.9	3.8	4.0	4.0	4.1	4.0	4.2	4.0	3.7	3.9	4.4
改定後 (%)	平成17年	2005	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.3	4.4	4.3	4.2	4.4	4.5	4.4
	18	2006	4.4	4.1	4.1	4.1	4.1	4.3	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0
	19	2007	4.0	4.0	4.0	3.9	3.8	3.7	3.6	3.8	4.0	4.0	3.8	3.7
	20	2008	3.8	3.9	3.8	4.0	4.0	4.1	4.0	4.1	4.0	3.8	4.0	4.3
(ポイント差)	平成17年	2005	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18	2006	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
	19	2007	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	-0.1
	20	2008	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-0.1	0.0	0.1	0.1	-0.1

網掛けは、平成20年12か月分の結果を追加して、さかのぼって計算したことにより、平成20年12月分(速報)の時点における公表数値が改定された箇所